

# ライフパートナーを 活用してみませんか？

## ライフパートナー (LP) とは

子どもたちに対して、教師でも親でもない立場から、学習支援や心理的支援を行う大学生です。

学校や家庭において、さまざまな活動をとおして子どもとLPがこころの交流をはかることで、子どもたちがいきいきとした時間を過ごせるようサポートします。

## 具体的には・・・

**学 習 活 動** 個別教科学習・授業場面での学習支援など。

**談 話 や 遊 び** 教室や体育館、運動場などでの休み時間  
相談室や保健室、家庭などでの雑談・遊びなど。

**校内での諸活動** 清掃や給食、委員会活動や部活動  
校内でのさまざまな活動など。

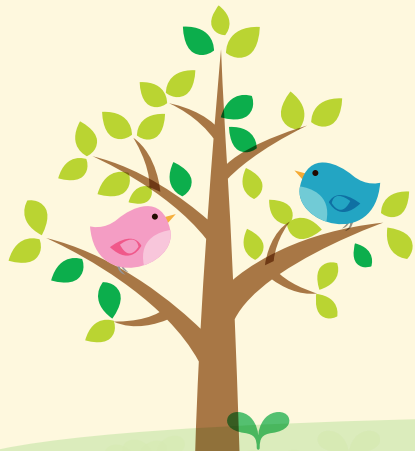
## どんな子どもに派遣してもらえるの？

- 不登校、保健室・相談室登校の子ども
- 学級における学習で個別の支援が必要な子ども
- 発達障害やその疑いがあり、特別な支援が必要な子ども
- その他、何らかの不適応があり支援が必要な子ども

## まずは・・・

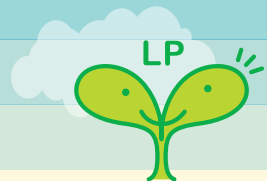
お子さまが通学されている学校の先生にお申し出ください。

\* LP は週に 1 回・2 時間・12 回が規定の派遣回数となっています。



発行日 / 平成 28 年 4 月 1 日

編集発行 / 福井大学 教育学部



# ライフパートナー利用にあたってのQ&A

**Q** 申込みをしてから、初回の訪問までにどのくらいの時間がかかりますか？

**A** 1～2週間ほどかかります。

**Q** 週1回・2時間・12回の活動形態以外での訪問をお願いしたいのですが、可能でしょうか？

**A** 上記以外の活動形態をご希望の場合は、学校の先生にお伝えください。派遣開始後の時間の変更は、先生やLPにご相談ください。

**Q** 支援をお願いできないような場合もありますか？

**A** 高い専門性が必要な子どもへの支援はお断りする場合があります。しかし、適切なサポートが可能な場合もあるため、お申し出に迷うときは学校の先生にご相談ください。

**Q** 活動開始後、子どもに対してLPが適切なサポートを行うことが難しいと思われた場合、別のLPに交代することはできますか？

**A** できます。  
適切なサポートが困難と判断した場合、速やかに学校の先生にご連絡ください。

## 利用者の声

先生から、ライフパートナー制度の活用を勧めていただきました。自分だけに来てくれる特別な若い先生から教えていただける嬉しさが、子どもの学ぶ意欲を湧かせてくれていると思います。

ライフパートナーさんに登校のきっかけをつくってもらったように思います。今では、自分で学校に行く日も増えました。支援を受けてよかったと思います。

家族だけが話し相手でしたが、若い先生と話したり勉強したりすることで明るくなり、本人の自信につながったと思います。

